2025 年 3 月 29 日作成

研究協力のお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ

記

研究課題名：成人成長ホルモン分泌不全症における GHRP-2 負荷試験およびグルカゴン負荷試験の有用性

研究の意義：成長ホルモンがどれくらい分泌されているかを調べる成長ホルモン分泌刺激試験（GHRP-2 負荷試験およびグルカゴン負荷試験）の有用性を明らかにすることで適切に成人成長ホルモン分泌不全症を診断し、成長ホルモン補充が必要な患者さんを的確に選別できるようになります。

研究の目的：本研究は、GHRP-2 負荷試験とグルカゴン負荷試験の成長ホルモン分泌反応性およびその特徴について、両負荷試験の結果を比較しながら検討することを目的としています。

研究の対象：2009 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日に本院糖尿病代謝・内分泌内科通院中の下垂体機能異常症が疑われた患者さんのうち GHRP-2 負荷試験、グルカゴン負荷試験を施行した患者さん。

研究の方法：電子カルテより年齢、性別、BMI、IGF-I、原疾患、空腹時血糖、HbA1c、GHRP-2 負荷試験での GH 推移、グルカゴン負荷試験での血糖・GH 推移のデータを抽出し両負荷試験の有用性を比較検討します。内科学Ⅰ研究室にて解析し、既存の情報は匿名化したうえで保管します。

※ ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください。申出された場合は、当該研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

※ 対象者の方の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

※ 本研究にて取得しました情報は、当該研究に関わる者と個人情報の管理者（金綱規夫）が利用いたします。

研 究 期 間 ：2018 年 5 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：

患者さんの個人情報の取り扱いについては、十分に注意を行い、論文投稿や学会発表等では、個人情報が特定されないようにします。また、患者さんより個人情報開示の求めがあった場合は、すみやかに開示いたします。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：糖尿病代謝内分泌内科外来

利益相反について：本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を

確保、または確保していることを社会に適切に説明するため、本学では、利益相反に対する基本的な考え方を「大阪医科薬科大学利益相反ポリシー」として定め、研究の実施やその情報の普及・提供が適正になされているかどうかを客観的に判断し評価する仕組みとして研究に係る利益相反マネジメントを導入しております。本研究は、本学の規程に基づき、研究者が大阪医科薬科大学 利益相反委員会に必要事項を申請し利益相反についての審査を受けた上で、実施されております。本研究は、大阪医科薬科大学 内科学Ⅰの講座研究費および奨学寄附金より支出いたします。本研究に際して追加費用は発生せず、当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：

研究責任者　大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ　助教　稲葉 惟子

研究分担者　大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ　教授　今川 彰久

大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ　講師　寺前 純吾

大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ　非常勤講師　酒井 聡至

大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ　非常勤医師　忌部 歩

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号
大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ
担当：稲葉 惟子
TEL 072-683-1221(代表) 内線 56683